

つながり

Vol. 162
(発行/2022.4.1)

がんばる市民活動団体を
紹介します!!

野洲生活学校

みそづくりの当日、野洲生活学校の皆さんの活動は、調理室の床の養生から始まりました。踏んづけて床にこべりついた大豆はなかなかとれないそうで、毎回シートを貼って養生するそうです。

野洲生活学校は、昭和52年、生活者の立場ではてなと感じたことをみんな考えて、暮らしや地域を少しでも良くしよう、と発足しました。地球にやさしい住み良いまちづくりを目指して未来に豊かな地球を残すため「食と環境問題」を柱に学習し実践してきました。「みそづくり」はその中でも、野洲生活学校設立当初から行ってきた行事です。

みその原料である大豆は契約農家さんによる有機栽培で、事前に来られる方に配布します。来られる方はその大豆を何時間もかけて柔らかく炊いて持ってきます。この日行った工程は

- ①麴と塩を混ぜたものの上に、炊いて持ってきた大豆を機械にかけて絞り出す
- ③麴と塩、絞り出した大豆を混ぜる。固い場合は大豆のゆで汁を足す。
- ④混ぜた後丸めてお団子を作る。
- ⑤団子にしたものを瓶などに押し込んで詰めていく。(空気がはいらないように)
- ⑥上からさけかすかラップ+袋に入れた塩でふたをする。
- ⑦最後消毒のためにホワイトリガーを吹きかけて日陰の涼しいところに保存する。



そして10月!ようやく食べられます。自家製のみそってとっても手間と時間がかかっているんですね。自分で作るから添加物はないし、減塩なので身体にやさしいし、おまけにとってもおいしいのだそうです。参加されている皆さんはこの「みそづくり」を毎年楽しみにされています。「みそづくり」はできたみそを楽しむだけでなく、その作業時間も皆さんにとっては貴重な時間です。世代を超えて、みんなでワイワイ。大豆を絞り出す工程は、なかなかの力仕事のため、若い人が年配の人を手伝い、年配の

人が若い人にやり方のコツを教えるといったコミュニケーションの場にもなっています。

琵琶湖の汚染に対処する粉石けん推進運動や、学校応援隊でボランティア活動など、いろいろな方面で活発に活動してきた野洲生活学校ですが、最近では会員の高齢化による後継者不足に悩んでいます。「若い人は忙しいから、なかなか入ってもらえないのよ。」と会員のおひとりごぼつりと話されました。野洲生活学校の活動に興味のある方、活動に参加されませんか。

お問い合わせは、077-587-2044 (水島) まで



Hug Baby 野洲の「バトンタッチの会」にお邪魔しました！



所になればいいと「Hug Baby 野洲」のメンバーは考えています。

この日も図書館に来られた数組の親子がのそきに来られました。その中には初めてのお子さんを抱っこしたお母さんもいらっしゃって、始めはとても固い表情をしておられました。ところが、みんなで話しているうちにだんだんと表情が柔らかくなっていき、赤ちゃんも笑顔になってニコニコして帰って行かれました。離乳食の話やおもちゃの話などなど。お母さんの悩みは尽



メンバーの中での「(こどもが大きくなって)小さくなった服いらん？」という一言から、「他にも必要な人がいるかも?」「出してみようか?」と始まった「バトンタッチの会」。自分のところで活躍した思い出深い服を次の誰かにバトンタッチします。コロナ禍で以前のように遊びに出られなくなった今、気負わずに自由に来て、自由に帰れる場所。子どもたちが遊べて、お母さんたちの交流もできて、お古ももらえる場所。そんな止まり木のような場



きません。初めてだとなおさらです。後になってみれば、たいしたことないと思えても、その時はみんな精一杯なんです。「わかる、わかる、自分もそうだったよ」と聞いてもらえるところのひとつにしてほしい。「昔の自分と同じ悩みを抱えているお母さんに、「わかる、わかる。」と言いながら、みんな悩みは同じなんだ、自分は間違ってたなかったと自分自身を肯定することができて、自分自身も救われた。」とメンバーがおっしゃるように「バトンタッチの会」は、話す方にも聞く方にもほっとできる空間

になっています。子育てに疲れたら、ちょっとのそいてみませんか。どなたでもお気軽にどうぞ。

今後の予定 ◆おいしいおしゃべり会

4月19日(火) 10:30~13:00 野洲図書館 工房室

親子3組程度(人数に達した場合、お断りさせていただく場合があります。)

◆バトンタッチの会(遊び場・おしゃべり・リユースの会)

4月26日(火) 10:30~11:30 野洲図書館 会議室

お問い合わせ・お申し込みは hugbaby.info@gmail.com 公式LINEアカウント ⇒



Information

「オレンジガーデニングプロジェクト」参加のお願い

「オレンジガーデニングプロジェクト」とは、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創ってこう!」という思いを共有し、楽しみながら全国各地で認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を咲かせるプロジェクトです。

野洲市ではこの活動をきっかけに、認知症について考え、周囲の人と話したり、認知症の人と一緒に花を育てたり、人・地域・社会との繋がりを持ち、認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていくことを目的に広く市民にご協力いただきたいと考えています。

お問い合わせは、高齢福祉課 地域包括支援センター (☎ 077-588-2337) まで

[発行] 野洲市市民サービスセンター
〒520-2492 野洲市西河原 2400 番地
TEL: 077-589-6430
FAX: 077-589-6438

E-mail: madoguti@city.yasu.lg.jp
野洲市HP「市民活動支援」:
http://www.city.yasu.lg.jp/soshiki/shimin_service/shiminkatsudou/index.html